

都道府県	土地改良区	所属・経歴	区分	氏名	理事歴	担当業務	Q1 理事として心がけたこと・成果	Q2 後輩理事のために ご自身が覚えていきたいこと	Q3未来の女性理事に 向けたいエール	Q4課題や改善を求めること
北海道	ながぬま 土地改良区	建設コンサルタント 建設会社勤務 赤平市議会議員12年 北海道議会議員2期目	員外	植村真実	3年	総務	初めは、役割が分からないことばかりだったが、遠慮せず質問することを心がけてきた。農業に対する知識も向上した。	仕事内容を明確にし、職員も含め負担軽減が図れる方法を模索したい。	役員資格が違うなら、様々な経歴を持つ方に理事に参加をしていただき、多様な観点から農業の礎である、土地改良をPRしていただきたいです。	農業関係者でなければ、土地改良区の業務内容等が解りづらい部分もあり、理事として参加するには、ハードルが高いと思われる部分もある。男女問わず、就任していただきやすい環境づくりが必要と思われます。
北海道	新篠津 土地改良区	土地改良区との事業関係に以前から関わりがあり、地域活動にも出席。 専業農家で米作り他に取り組んでいる。	員内	堤祥江	2年	事業	維持管理の現場の確認に積極的に参加し、利用者の立場から気づいた点をその場で職員や業者の方に伝えるようにした。	理事の業務内容や役割を共有できる仕組みを整えて、初めて理事になる人が戸惑わないようにしたい。	分からないことや戸惑うこともあるかもしれませんが、最初は誰でも初心者です。積極的に質問したり、気づいた点を伝えたりするなど、一緒に学んでいきましょう。	次世代が安心して役割を引き継げる体制づくりが必要。
岩手県	豊沢川 土地改良区	岩手大学が認定する農業経営力・実践力・責任力を保証する アグリ管理士の資格を有しており、米づくり・野菜作り に取り組んでいる。	員外	阿部美智子	2年	総務	理事になって2年が過ぎ、理事会だけでなく様々な行事や研修に積極的に参加をしたことで自分も学びになった。また、周りの方々にも情報を伝えるなど関心をもってもらう「きっかけ」をつくった。	理事としての役割とは何かを明確にして、後輩理事に伝えたいと思っている。また、資料の見方や業務の流れ、専門用語なども理解を深めたい。	理事を受けたことが大きな一歩である。誰でも初めはわからないことが多い不安からかもしれないが、徐々に理解が出来ます。焦らずに何でも聞きましよう。周りの方々がしっかり支えてくださいます。	他改良区の女性理事との情報交換は、貴重な場であり大変勉強になった。特に全国大会は多くの方々との出会いがあり、組織について多くを学び得る機会となった。
岩手県	豊沢川 土地改良区	家業の農業に取り組むとともに、女性農業者による6次産 業化に取り組む女性グループに所属し、地域で女性が活躍 する農業を推進している。	員外	川村姫子	2年	総務	初めはわからないことばかりで、なじむのに大変でしたが、先輩理事や職員の方々に色々聞きながら女性ならではの視点で発言できるようになり、存在感を出せていると感じている。	初めに理事になる方々のために、業務内容や会議の進め方を分かりやすくしたい。家庭と仕事で両立しやすいよう連絡の仕方を工夫してもらいたい。(LINEやメール等)	先輩理事や職員の方々が手助けしてくれるので、色々聞いて覚えていけば、女性的視点からの気づきが生れ自信が繋がります。色々な方々との出会いもあり、やってみるべきです。	専門的な部分が多く初めて理事になる方もわかりやすい説明等があれば大変ありがたい。 地域での交流ができなかった。女性理事は外に出る機会が少なく、現場の声を聞く事が少ない。戸内会議の中からアイデアが生まれる。 初めの一歩を勇気をもって踏み出すこと。
岩手県	胆沢平野 土地改良区	食生活改善推進協議会会員 東日本大震災被災地支援「奥州♡絆の会」会計 地域の総代からの推薦によって第1期女性理事に就任	員外	佐々木育子	3年	総務	男性が多い理事会では、勝手が違い戸惑うことが多いけれど「よく聞くこと！」「興味を持って取り組むこと！」を心がけてきた。その中で女性職員とのランチタイムで仕事への理解が深まり、垣根が少し取れたような気がした。	いきなり理事になったので、早めに組織の役割や業務内容についての勉強会や、先輩理事に話を聞く機会を設ける。	日々の暮らしに関わる大事な仕事である。飛び込んでみると案外面白く、やりがいのある仕事です。 初めの一歩を勇気をもって踏み出すこと。	経験値は各々違いますが、理事会においては同等だと思っています。改善点としては、水路工事で施工する延長が決まっていますが、できれば工事が一回で済むように制度が変わっていくと良いと思っています。
岩手県	胆沢平野 土地改良区	酒店経営 奥州市総合計画審議委員 奥州市社会教育委員 地域の総代からの推薦によって第1期女性理事に就任	員外	吉田あや子	3年	総務	何も分からない所から始まりましたが、地域の人達に少しでも役にお立てと良いなと思いました。 成果と思えるのは、亡くなった方の土地を耕作している方々から賦課金を徴収できたこと。多面的事業の環境活動として、理事2年目は農家の方々といまわりで、3年目は地域の2つの女性団体とチームアップを結成しました。また、総代さんのお困りごとを解決したり、水路、農道を農家さんが作業しやすいように整備するため、担当地区の役員さん達との協議がスムーズに進むようにしたことでしょうか。	理事会の議事が円滑に進み、建設的な議論につながるよう、論点の整理に協力していきたいと考えています。	まず、地域の農家さんへ寄り添って欲しいです。女性ならではのコミュニケーションを上手く使えば大丈夫！	経験値は各々違いますが、理事会においては同等だと思っています。改善点としては、水路工事で施工する延長が決まっていますが、できれば工事が一回で済むように制度が変わっていくと良いと思っています。
岩手県	胆沢平野 土地改良区	若手ふるさと農業協同組合 総代 農家（菌床しいたけ、米、じゃがいも） 地域の総代からの推薦によって第1期女性理事に就任	員外	門脇諭美	3年	事業	理事、総代、土地改良区に関わる方々と、情報交換・共有することを心がけてきました。また、地域の人達にそれらを発信してきました。対話をすることで、お互い頼りあう関係が築けたと感じました。	総代経験がない分を補うために、理事の役割・仕事内容を大まかにまとめた参考資料を残したい。	これまでにとらわれず、自身で感じて前進して行ってください。	関係機関との関わりや業務用語が多いことから、説明書を作成することを勧めます。 女性理事登用に関して、総代の皆さんが今後の土地改良区の運営を踏まえて、話し合う場が必要と思いました。そして、複数期継続ができるよう求めます。
宮城県	あぶくま川水系 角田地区土地改良区	専業農家で米作りに取り組み、地域活動にも出席	員外	永田真由美	2年	事業	理事になった当初は分からないことばかりでしたが、理事会や意見交換会、女性研修会など積極的に参加することを心掛けてきた。理解が深まるにつれ勉強不足だった点を皆さんの考えを聞きながら自身の役割を果たしてきました。	若い世代や、女性に土地改良区を身近に感じてもらえるようにしたい。	理事になったからといって、全てを任せられるわけではないので、他の理事の方々と一緒に土地改良区の未来について考えていきましょう。	女性理事が直面する課題は多様ですが、次の世代が安心して引継げるよう、女性だからできないことではなく女性だからできることがあるなど改善策を見つけることで役割を果たしていけるのではないかと考えている。
宮城県	あぶくま川水系 角田地区土地改良区	専業農家で原木シイタケを栽培 現在農業組合法人で米作りにも取り組んでいる	員外	井上愛	2年	事業	メンバーの意見を積極的に聞くことでメンバーとのコミュニケーションが円滑にとれるようになった	始めて理事になる人たちが戸惑わないような人間関係	完璧じゃなくてもいいと思います、学びながらも大丈夫です。	次の世代が安心してできるような引継ぎ体制づくり
秋田県	小坂町 土地改良区	生命保険会社に31年間営業職（FP2級）として勤務し、令和2年退職。 現在「あまいけ」という屋号でご飯屋、各種大福、漬物などを販売している。 令和6年3月30日に小坂町土地改良区理事に就任。	員内	木村由紀子	2年	処務会計	理事会や総会など、男性が多い場に出た当初は、「自分も場違いではないか」「何をすればよいのだろう」と不安を感じておりました。そのため、言い訳になるかもしれませんが、「分からない」という気持ちを出発点にしながら、会議や研修にできるだけ参加し、専門用語を一つひとつ学ぶよう努めました。 その結果、現在では水利の仕組みや補修の重要性、賦課金の目的などについて理解が深まってきたと感じております。	何かを大きく覚えていくということではありませんが、きっと後輩の理事の皆さんも不安な気持ちを抱えているのではないかと思います。だからこそ、無理をせず、等身大であることが大切だと感じています。また、先輩理事は、専門的な内容を覚えていられる経歴を分かりやすく伝える「通訳者」のような存在であればよいのではないかと考えています。	責任負ふ、難しいことは諸先輩からご教示いただき、一歩ずつやっていきましょう。	女性理事のあだけ「虎の巻シート（フォーマットみたいなもの）」があれば…。 例えば、共通言語、ルール、チェックリストがあったら少しは判りやすいのではないかと思います。
秋田県	大仙市大曲 土地改良区	高校卒業後、法律事務所、秋田地方裁判所勤務を経て、今野信子事務所を開設し、社会保険労務士・行政書士としての業務に携わっています。 また、秋田県社会保険労務士会副会長、秋田県行政書士会副会長を務めている。 令和5年4月1日に大仙市大曲土地改良区理事に就任。	員外	今野信子	3年	処務全般	当初は理事の役割に戸惑いましたが、今では労務管理の法的手続きに関する相談役として、頼られる存在になっていると感じています。	受け身ではなく、主体的に職場環境の改善に取り組んでいきたい。	より良く、より安全な地域社会のために、女性ならではの視点から積極的に意見を発信しましょう。	農村の若者離れや農業人口の高齢化が進む中でも、土地改良区の運営を適切に継続していくためには、理事に就任した早い段階で、その役割と業務内容を明確に説明する機会が重要である。 これにより、理事がより積極的に活躍できると考えられます。
山形県	新庄 土地改良区	高校卒業後、地方公務員として働き、新庄市役所に勤務。 (農薬委員会事務局、農林課に在職) 退職後はJA新庄市の経営管理委員就任とともに新庄市農業委員会会長へ就任。その後、一般社団法人山形県農業会議副会長、新庄土地改良区理事、山形県土地改良区事業団体連合会理事に就任。	員外	浅沼玲子	3年	事業	女性農業者が農業分野に限らず、多方面の活動に参加する機運の醸成のきっかけとなることを願い、各活動への参加を心がけております。	農業分野での知識は十分にあると思われず、共に積極的に意見交換の場へ参加しましょう。	今後ますます社会における女性の活躍が期待されております。皆さんの経験が十二分に発揮されることを願っております。	女性視点も取り入れ、今後も地域に守られ、地域を守る土地改良区であり続ける体制構築が必要だと考えております。
山形県	置上川中流 土地改良区	旅行会社で営業職務として42年間勤務。 その後、中心市街地の賑わいの拠点としてオープンした5店舗施設のコーディネーターとして14年間勤務。 現在は、県内旅館にて企画・接客業の対応。 農家ではなく、経験はありませんが、土地改良区とは以前から関わりがあり員外理事として就任。	員外	堀野秀子	2年	管理	土地改良区とは、何をしている団体かなかなか分からず、農家だけの組織と思われがちだが、農業の基盤を支え、地域の水を守る大切な役割を担っている組織であることを、理事に就任して知ることができた。 重要な役割を担っている土地改良区を一般市民にも広く知っていただく企画『つながるマルシェ』を開催し、地域の方との対話を役員員と共に理解した企画だった。 今後は「伝える役割」を担っていくことも一つの挑戦だと感じている。	各会議はもちろん、関連事業等にも積極的に参加し、共に理解を深めていきたい。	私は農業経験がない初心者ですので、一緒に学び、コミュニケーションを取り合える環境を作って行きましよう。	初めて理事になる人にもわかりやすい資料、説明会などあればいいと感じている。
山形県	泉田川 土地改良区	大分県出身。 割烹料理の店を営む夫に嫁ぎ、一緒に仕事をしながら、町の議員として2期目を務めている。	員外	星川智子	2年	担当制なし	農業に関する知識が乏しいが、仕事柄、農業委員と意見交換が出来たり、文献などで情報収集することを心がけているが、現場の問題は見えない。	特にはないが、初めて理事会に参加した当時は関係者が手紙で届いていたが、途中で要望してSNSを利用した開業案内に切り替えてもらい快適になった。	現場の女性の声が聞きたいです。理事になって聞かせて下さい。	農業でもスマート農業が広がっているように、予算も関係してくるが、事務的にもDXが進むと良いのではと感じた。
福島県	阿賀川 土地改良区	令和5年3月高校教員退職、現在パートタイム	員外	藤司吉子	4年	編集	研修や催事等に参加することで、土地改良区に事業・役割を理解できた。また、参加可能な地区の集いにも出席するようになった。土地改良区の事業を周知する大切さを実感した。	理事の仕事を理解し、早く慣れるような研修会等をさらに増やしてもらいたい。	戸惑うこともあると思います。自分らしさを大事にして自然体で行動することが自信につながります。	日本文化の基盤である稲作を次世代に引き継ぐためにも、土地改良区は地域と行政等との更なる連携強化が重要である。
福島県	阿賀川 土地改良区	・歯科医院に勤務後、結婚を機に専業で農業に従事 ・PTA本部役員を5年経歴 ・地域づくり協議会にてボランティア活動	員外	猪俣今日子	4年	編集	地域の集落の方々を積極的にコミュニケーションをとると、意見や課題について共有することで信頼関係の構築ができたと感じています。	「引き継ぎ書」のような資料を整えたい。そうする事で新たな理事が「何をしたいかわからない」や「負担が大きすぎる」といった事態を避け、持続可能な組織運営が可能になると思うからです。	自分1人で担う必要はありません。気負いせず、周りと一緒に活動していきましょう。	属人になっていないノウハウや意思決定の基準を文書化し、誰でも引き継げる形にしておいたほうが良いと感じている。
茨城県	中丸川 土地改良区	福島県出身 結婚を機に、ひたなかな市の農家に嫁ぎ、稲作と甘藷栽培と干し芋製造を行っている。	員内	安良子	2年	事業	理事になった当初は、分からないことばかりだったが、周りの理事の方々に遠慮せず質問をしていくうちに、理解が深まり楽しく活動出来るようになった。	初めて理事になる人が戸惑わないよう、仕事の内容を共有できる仕組みを整えたい。	無理に背伸びしなくても大丈夫。周りの方々と関わることで、自然に気づき重なり、自信が持てるようになります。	次の世代が安心して役割を引き継げるように、初めて理事になる人にもわかりやすい資料や説明の機会があると安心だと感じている。
茨城県	蔵後余郷入 土地改良区	専業農家で米作りをしています。	員内	本橋佳代子	10年	事業	積極的に理事会に出席して組織の内容把握に心がけました。圃場の維持管理に大切な存在であることがわかりました。	初めは戸惑い不安があると思うので、仕事内容などの引継ぎ資料を整え負担軽減したい。	経験って大切す。ゆっくり学んでいきましょう。	初めて理事になる人にもわかりやすい説明や引継ぎが大切だとも思います。

都道府県	土地改良区	所属・経歴	区分	氏名	理事歴	担当業務	Q1 理事として心がけたこと・成果	Q2 後輩理事のために ご自身が変えていきたいこと	Q3未来の女性理事に 向けたエール	Q4課題や改善を求めること
栃木県	大田原市 土地改良区	大田原市土地改良区に臨時職員として7年間、職員として15年間勤務。退職後は臨時職員として1年間勤務後、理事からの推薦により常勤理事に就任。	員外	生澤高代美	2年		理事というより職員としての考えが先に立ってしまっていたが、全体を見渡すことを心がけてきた。相談しやすき存在になってきたと感じている。	土地改良の業務内容は分りやすいのですが、少しでもわかりやすく説明をし、業務の不安を減らしたい。	男性社会の土地改良区ですが、無理しなくて大丈夫。貴女のひらめきが大きな一歩です。	土地改良区の業務内容が分りにくい部分があり、初めて理事になる人にも業務内容の説明の機会が必要だと感じている。
栃木県	烏山 土地改良区	専業で農業（主に水稲）を営む。 平成29年度に栃木県女性農業士に認定、幅広く活動している。	員内	駒場由貴里	3年	施設管理	土地改良区の組織としての内容がわからず、用水路等の工事修繕の必要性や経費等の勉強からはじめ、理解できるようになった。	業務内容やどのような会議が行われているかを伝え、情報を共有していきたい。	一緒に土地改良区の必要性を学んでいきたい。	理事の役割や業務内容が分りにくい部分があるので、わかりやすい説明資料が必要だと思う。
群馬県	広瀬橋木間用水 土地改良区	父親のもと、農業組合法人を立ち上げ、専業農家で米麦の耕作に取り組んでいる。また、米麦のほか、プロセッコーを中心とした野菜作りや畜産(牛)にも取り組む。	員内	武士千雅子	9年	副理事長	地域の現状や農業者の意見や考えを述べる事ができた。また、今までの慣習も受け入れつつ、時代に合った考えや意見を述べる必要があると考える。	土地改良区や理事の役割は実際に理事に就任してから分かることが多い。もっと土地改良区を認知して貰えるよう、努力をしていきたい。	「理事」という肩書きを堅く考えず、地域のために、未来のために何が出来るか、少しずつ学びながら取り組んでいきましょう。	今の土地改良区の役割、業務、重要性を非農家の人々も含め、多くの人に知ってもらえることが、今後の土地改良区運営に大きな影響を与えると感じている。
群馬県	大間々用水 土地改良区	商業高校を卒業後、当土地改良区に45年勤務し主に会計経理や庶務に携わる。 退職後は民生委員活動中。 総代の推薦により員外理事に就任し役員として3年目。 土地改良区が事務局をするNPO法人鹿田山環境ネットワーク活動組織の一員として、地域の早刈り清掃作業等のボランティアに参加。	員外	富山悦子	2年 (66.1)	特に無し	農業から離れた生活者として、外からの視点で改めて確認した土地改良区の必要性と重要任務は組合員は基より地域住民の方々に女性理事ならではの視点と言葉で伝えていくこと。効果は自身では未だ感じられていないが、改良区愛を持って継続して行くことが大事と考えています。	自身は職員という立場も経験した実務経験者であったが故に、理事就任時は理事会での発言に躊躇してしまっが、今後は理事全員が質問や意見を交換し易い雰囲気づくりにも努め、納得感のある意思決定ができるよう会議をより活性化させたい。	女性理事であるという特段の意識を常に持つ必要性は無いと思っているが、時に女性ならではの視点も活かし、自分らしくで負わず成長できるチャンスと捉え、自信を持って理事にチャレンジしていきたい。	理事長、副理事長の3役は理事としての業務、役割が集中し負担が多いので、他の理事にも執行例としての意識と役割の分散が必要と感じている。農家の担い手としての妻や女子からの女性理事登用、また、地域の異業種からの女性理事の登用も多様性を受け入れる構築の必要性。
群馬県	藤塚地 土地改良区	一般社団法人群馬県農業協議会 ぐんま農業委員会女性ネットワーク 会長 大田市農業委員会 会長職務代理者 清水・橋本農園にて営農中	員外	清水由紀江	2年	特に無し	(飯台が) どのような事業を行っているのか理解して行きたいと思えます。会議や研修に参加し意見など聞き、また自分の意見を伝えられるようになりたと思います。分からない事は質問をして行きたいと思えます。	私たち一人ひとりの意識の姿勢、行動が求められています。男女分け隔てなく、対等な話が出来、相談しやすい環境を整えて行ければ良いと思えます。	周りの人の意見を聞いたり、自分の意見を伝える事によって、様々な事が前向きに考えられるようになります。	(水土里ネット全体に向けて) ・女性としたりより、一人の理事と関われるよう『性別差別』や『性別役割分担意識』をなくす。 ・お互いがお互いを尊重し、分け隔てない環境整備
神奈川県	藤沢市西保野 土地改良区	父も生前土地改良区の理事を長年務めていました。 専業農家で施設野菜・米作りを営んでいます。	員内	飯田美和子	1年	理事	理事になる前はぼんやりとしか分からなかった事が、だんだんハッキリとわかるようになってきました。	理事の役割分担とかが分りにくいので、引継ぎ資料とともに相手に分りやすく伝える。理事から外れた後でも質問できるようにする。	最初から出来る人はいないので、分からない事は恥ずかしがらずに聞く。初心者でしか気づかない点が出てくると思うので、どんどん発言する。	世の中は女性がどんどん社会に出ているが、農業の中ではまだまだ男性社会なので、ルールとか今の時代にあった形に変えた方がいい。もっと柔軟性を持つべきです。
山梨県	南アルプス 土地改良区	JANアルプス市女性部部長を6年間務め、桃、ぶどうなどの加工品づくりに尽力した。 家業では稲作に従事し、より良い米作りのため、日々研究を重ねている。	員外	井上絹子	2年		JANアルプス市の女性部にも所属していることから、特に地域とのつながりを大切にしたい。女性も活躍できる場が増えることで、土地改良区が少しでも身近な存在になれば良いと考えている。	土地改良区は仕組み上、これまで男性組織と認識してきたが、女性が参画することで地域の土地改良区への関心が高まり、みんなで「ふるさとの未来(農業)」を考えるきっかけにしていきたい。	女性の役割は大きい。女性ならではの目線と一緒に頑張らしましょう。	男性だから、先輩だからということではなく、多様な人たちが意見を聞き、それを検討し、良いところを取り入れていくという循環があれば、もっと良い組織になっていくと思う。
長野県	安曇野有明 土地改良区	60歳までは役場勤務。退職後は先祖からのわずかな田畑を耕作。 地域での回り番の役員は引き受けました。	員内	浅川とみ子	3年	工事委員	理事会総会委員会などには万端を期して出席に心がけた			4年という限られた任期の内に今までの組織の流れに何か注文をつけるような知識や考えは浮かばない。
長野県	安曇野有明 土地改良区	森林組合に勤めていて、定年後、理事を引き受ける。 水稲・麦の専業農家であり、専従者として従業に従事している。	員外	飯沼千賀子	3年	総務	初めはわからない事ばかりだったが、理事会の折には先輩方より教えて頂きわかるようになった。	水路の大切さや管理を、組合員だけでなく一般の市民にも伝えたい。	参加すればわかる。自分の地域を守っている大切な団体。	組合員のみで、長い延長の水路を守っていくことは大変で、高齢化・人口減少で難しい。 地域の人々の理解を得て、地域全体で水路の環境を守ってきたい。
長野県	安曇野有明 土地改良区	兼業農家で、パート勤めと、既にあった生産組合の一員として、育苗と収穫の手伝いをしてきました。	員外	栗原まさ代	3年	総務	何もわからなかったのですが、まず、改良区の流れを少しずつ覚えていくから始めました。少し進捗したかなと思います。	自分のできる事に積極的に参加していきたい。	まずは参加する事。 色々プラスな事と思います。	農業に従事する人が減っている現状。女性理事の選出の仕方を変えたいのではないだろうか。
長野県	高瀬川右岸 土地改良区	JAR理事、農業委員を経験し、地元多面的組織の構成員としても活動。	員外	平出志げ子	2年	総務・会計	当たり前の事ですが、会議には必ず出席する事を肝に命じ、2年間やってきました。土地改良区の仕事も十分理解できるようになり、地域を見る目も変わってきた様に感じます。	大切な水管理もしている土地改良区の仕事を理解する為にも女性の参画を大いにすすめたいと思えます。	女性理事の不安を感じる事がないよう家族の理解、バックアップも必要だと感じている。	
長野県	高瀬川右岸 土地改良区	農協関連の学校卒業後農協に勤務し、その後結婚を期に農業に従事しました。現在は稲作をしています。	員内	白澤好美	2年	総務・会計	理事として最初から何か出来るわけではないので、理事会等に出る事なかで、徐々に業務内容を理解できればと思います。	当土地改良区において、業務内容に性差はなく不都合ありません。むしろ女性理事だからと、特別な事を求められる事があれば抵抗を感じます。	知らなかった事を学べる機会と考え、経験してください。	女性理事と言われることなく、理事の一員として活動できる体制づくり。
長野県	小布施 土地改良区	平成30年5月～令和3年4月 町農業委員会 令和4年4月～ 小布施土地改良区理事	員外	田中はる子	4	地区責任者	理事会、総代会等の会合にはできるだけ出席するよう心掛けた。		4年間はずっと長いけど頑張ってください。最初は何かのことからなら	理事の役割や業務内容が分り難いので、初めて理事になる人にも分りやすい資料や説明の機会があると良いです。
長野県	松本市女鳥羽川 土地改良区	当番地区に当たり受けることになりました。 理事になるのに所属・経歴は必要無いと思えます。	員内	松田玲子	3年		広報誌などの配布時に会った地区の方と話すことを心がけています。	理事全員で助け合っています。性別の心配はありません。	女鳥羽川土地改良区は性別関係ありません。	世代交代していく組合員さんの理解を大切に運営できると良いと思えます。
長野県	松本市女鳥羽川 土地改良区	土地改良区理事の役職が回ってき任期4年のうち3年経過	員内	小松淳子	3年		会議等にきちんと参加すること 全くわからなかった改良区の仕事内容を把握できた	変えることも 変えられることも ないように思う	男性だから、女性だからといった差異も弊害も全くない	改良区によって、規模も仕事内容も、財務状況も大きく異なる中で同じような課題を抱えている改良区同士が将来も十分存続していけるよう策を講じてほしい
長野県	上伊那美和 土地改良区	高校卒業後、今はありませんが宮田オアシスに6年勤務。結婚退職後、長谷で同居しながら子育て10年。主人の異動で長野市安茂里に5年間住む。後長谷に戻る。令和4年主人の病死。長谷に嫁いでから、田んぼ畑の手伝いを行って30年ほど、今は次男と二人で田畑を何とか維持している。現在、サービス業伊那市観光パークで忙しい時さくらの通勤中。	員内	高見千恵	2年		突然が来た。田んぼの面積が多いの事。しかし田んぼの必要性、高齢者ばかり、皆様の人力がなければもたない。出来ることは協力します。	委託が出来るのか？どれだけ費用がかかるのか？荒地になってしまうのか？災害が起こるのか？不安だらけの中、何とか子供孫に伝えたい。	足が痛い腰が痛い、でも体をじょうずに使って皆が元気で楽しい農業が出来たら。安心して物を食べ皆が健康でいられたらと思います。	いまだに何を、どうあるべきかわかりません。すみません。
長野県	上伊那美和 土地改良区	他県から結婚を機に移住。在住地内の建設会社に勤務。土地改良区の仕事を請負う立場から事務方に依る。農業経験はなし。娘が、子供に自分の作った農作物で育てたいと家庭内消費程度の農業に従事。目下、自分は手伝い程度。	員外	中山寿美	2年	監事	わからない事はわからないと周囲の方々に伝える。「あたりまえ」「常識」「昔から」「なぜ」で聞かう。成果は個人的な学習のみ。	学習中なのでありません。まずは、自分自身が水田、畑を潤す水に関心を持つこと。	水の大切さ、水はどこから流れてくるのか。誰が守っているのか、そこから始めてください。	土地を大切に思う田・畑の所有者の善意の共同作業に希望の光を与えてください。
長野県	上中塚 土地改良区	保育士として30年余り働く。退職後は畑仕事中心に生活をする。	員外	鳥羽つる代	2年	企画管理	女性理事の登用という事で推薦され2年がたちました。土地改良の事は何もわからず会議等に出席しなるとどう思うことばかりです。すべてが初体験で勉強になります。		初めての女性理事ということで、資料も活動例も知られぬうちに就任し不安一杯でしたが、なんとかなります。	市街化・高齢化・農家の減少など様々な環境があり、女性理事の選出方法をもっと広域で考慮されたいと思う。
長野県	大町市 土地改良区	民間企業で、会社員として主に総務人事部門に勤務。高瀬川上流水利運営委員会(大町市、改良区、民間企業で組織)より推薦され、令和4年より監事に就任。県外からの転入者であり、営業経験もなく、員外監事として従事している。	員外	無記名	4	監事	的確かつ誠実な会計監査を行うこと。	自分の持っている経験を後輩のために、積極的に伝えていきたい。	他の理事・監事、事務局職員がフォローしてくれしますので、一緒に頑張ってください。	役員改選後スムーズな引継ぎが行える様、女性目線の監査手順書や引き継ぎ書の整備が必要と思えます。
長野県	長野県梓川 土地改良区	専業農家の跡取りで、40年以上りんご栽培をしている。 JAの理事(3期・9年)、現在農業委員(3期目・8年目)	員内	二村喜子	2年	全般	理事になって水をこんなにも沢山の人が関わって成り立っている事がわかりました。 一人でも多くの、特に女性に伝え、土地改良事業の大切さを多くの人にわかってもらいたいと思っている。	小さな仕事でも、出来る事からはじめれば良いと思う。	女性の目線がとても大切な事があるので、ひとりでも多く理事になっても構いません。	女性理事(自分)が経験した事、わかった事等、次に人に伝えやすい何か仕組みがあれば良いと思う。
長野県	長野県梓川 土地改良区	・土地開発公社、会計事務所在職 ・スポーツ競技団体に活動中 ・多面的機能支払交付金活動組織に携わっている	員外	武井亜由美	2年	理事	土地改良区のこととはわからないことばかりですが、他の理事や事務局に教えていただきながら学び中。 無関心にならない様心がけている。	女性理事として何が出来るのか、1つでも役割を見つけれたい。	少しずつ学ぶにけば大丈夫。 自分の知らない世界との出会いも楽しいです。	初心者理事の勉強会があると理解しやすいかもしれないです、

都道府県	土地改良区	所属・経歴	区分	氏名	理事歴	担当業務	Q1 理事として心がけたこと・成果	Q2 後輩理事のために ご自身が変えていきたいこと	Q3 未来の女性理事に 向けたエール	Q4 課題や改善を求めること
長野県	薄川 土地改良区	農協に40年勤務し、退職後本格的にブドウ栽培	員外	百瀬清子	4年	監事	組織のことから、何もかもわからない事ばかりでした。会議、視察、研修などなるべく出席し学んで来ました。	会議などは積極的に出席し、「女性がいる普通」という雰囲気を作りたい。	経験は全部自分のためになります。	各地区から役員を選出するのは今年限、家順などになって、女性を選出する流れがないので、全体で意識改革が必要だと思います。
新潟	羽茂 土地改良区	高校卒業後、団体営は整備事業の手伝いから土地改良区へ8年間勤務し、その後、地元の建設会社へ18年間勤務し現在は農業(水稲・果樹)をしています。	員外	羽生寿美代	2年	事務全般、地区の 用排水調整 及び維持管理業 務	当初は分からないことが多く不安もありましたが、女性という立場関係なく、他の役員の方々と同じ活動をさせた頂く中で理解することが出来たと思います。	初めて理事となる方が戸惑わないように仕事の内容や役割について資料を配りたい。	最初から理解することは大変なので会議や作業に参加して徐々に学んでいけばよいと思います。	初めて理事になる方が不安なく参加出来るよう業務内容や役割を共有するための説明が大切だと感じます。
新潟県	刈谷田川 土地改良区	総合病院14年間勤務の後、13年前家業であるすずき農園(大口りんご専業)に就農する	員外	鈴木裕美子	1年		就任1年目は何をすればいいのか、土地改良区とはから始まって、まず組織に溶け込むこと、理事同士や職員の方々との対応を大いにし、活気ある土地改良区の運営に力を尽くす努力をした。	地域の方々へ土地改良区への理解促進に努め、何をしているのかが分かる土地改良区になるように活動していきたい。改良区では発言しやすい雰囲気づくりを心がけ、誰でも意見を言える理事会を目指したい。	小さな疑問や意見が組織をより良い方向へ導く力となります。自分らしさを大切にしながら活動していきたいです。	土地改良区の役員選出は、専門知識の乏しから課題が多いこと。女性農業者同士のつながり、女性理事同士の横のつながりを増やして地域全体での意識改革が必要だと感じている。
新潟県	刈谷田川 土地改良区	父の後を継いで仕事と営農を両立しながら行い、退職後に営農に力を入れ始める。現在は(有)ネオファームに構成員として参加している。	員外	吉原良子	1年		会議に出席して意見を聞くこと。分からないことは他の理事に聞いたりした。少しずつ土地改良区の現状や課題を理解し始めたと感じている。	理事会や懇親会のある日は帰りが遅くなるので家事を早く行うことが大変なので、家族の協力や理解を得られるようにしたい。	挑戦を恐れず自分の意見を発信して行ってください。	理事会や懇親会のある日は帰りが遅くなるので家事を早く行うことが大変なので、気を使わなくてもよい社会づくりが必要だと感じている。
新潟県	三面川沿岸 土地改良区	農業法人共同経営者、生産・販売・経理・事務を担当。H29年に法人化。有機JASなど環境負荷軽減の栽培技術に取り組んでいる。地元区長、事務局側からの打診後、集落の推薦もあり理事に就任。	員外	員 貝沼佳代子	2年	総務	理事会、各種会議や研修会の参加を優先的に出席。なるべく質問や発言を心がける。	特になし	勇退と相談し一歩ずつ学びながらいきたいと思います。	特になし
新潟県	十全 土地改良区	高校卒業後、兼業農家として稲作に取り組み、地域の認定農業者、農業委員、土地改良区の総代として地域農業に関わってきた。	員内	員 佐久間澄江	2年		女性とは限らず、環境整備等の目につくところを申し上げてきている。	女性は育児が終わっても親の介護や家事仕事は尽きないため、両立しやすい運営に変えていきたい。	男女関係なく個人の思いや志等を自由に発言できることで積極的に参加しよう。	農地を負の財産と認識される時代に、未収金や相続が問題となっている。それを土地改良区が解決しやすいような制度の整備が必要である。
新潟県	西蒲原 土地改良区	地方公務員として勤務。退職後の現在は地域の婦人活動やボランティア活動に従事。	員外	坂井真澄	2年8ヶ月	地区に所属している	国への要請活動に同行したことや意見交換会、研修等に積極的に参加することで、国、県等行政機関からも認知されてきたと思う。	土地改良区の理事として初めての経験となと思うし、最初は理事の役割が分かりにくいと思うので、明確な役割、業務が示せるようにしていきたい。	理事会の出席はもとより、研修会や意見交換会等に積極的に参加することで経験を積んでいけば大丈夫です。	男女共同参画に併せ、土地改良区も女性理事の登用目標を立てたと思うが、登用することの最終目的を明確に示した方がいいと思う。
新潟県	西蒲原 土地改良区	現在、夫が代表を務める農業法人(有限会社益科)で経理・事務を担当。法人は米(110ha)、西洋なし(ル・レクテ・4ha)が主の複合経営。	員外	員 児玉百合恵	2年8ヶ月	地区に所属している	国への要請活動に同行したことや意見交換会、研修等に積極的に参加することはもとより、県が設置する協議会の構成員に打診され、年3回の会議に出席している。	土地改良区の理事として初めての経験となと思うし、最初は理事の役割が分かりにくいと思うので、明確な役割、業務が示せるようにしていきたい。	地域の実情や農家のニーズを伝えられるので、やりがいのある仕事だと思っています。	関係機関の会議への出席する機会が多くなったため、仕事と家庭と両立しやすい進め方を検討した方がいいと思う。
富山県	南砺市 土地改良区	結婚後48年間農業に従事。経営から実務全てを行う。JA総代2期、JA理事2期、農業委員3期、県女性農業者として活動。土地改良区の合併により、女性理事枠1名。理事長の推薦により就任。	員内	員 杉森桂子	4年	全般	出身地区の委員会に自ら積極的に参加し、土地改良の理解を深めるようにした。県下の役員が休めた(当初は私一人で)が現在理事16名監事3名)こともあり、昨年は全体研修会を開催。役員間の意見交換・交流に務めた。	はじめに理事になる人の不安やわからない点等が解決できるように、新任研修等に力を入れていきたい。	積極的に知識を身につけよう。まわりも知らないことが多いです。	男社会で成り立ってきた組織であることで、肩身の狭くならないようにして欲しい。自分の立ち位置がわかれば活躍できると感じます。
富山県	船舛 土地改良区	大学卒業後、地方公務員として働き、富山県庁(農業職)に35年間勤務。	員外	員 柳瀬美智代	3年	全般	理事になった当初は分からないことばかりだったが、遠慮せず質問することを心がけてきた。(成果)他の理事も質問しやすい雰囲気を感じた。	理事希望者が増えるように、自分が「よかった」と思ったことを残していきたい。例：農業用水事故防止の取組で地域貢献できた	最初は誰でも初心者です。地域活動、農業の推進、環境保全…自分の幅が広がります。一緒に学んでいきましょう。	決算書で専門的な用語が多く、数値の見方がわからない。初心者にも理解できるように、ご指導いただきたい。
富山県	朝日町 土地改良区	JAみなぎ女性部長 元南保公民館主事	員外	員 中嶋千代乃	2年	工務	理事になった当初は分からないことばかりでしたが、理事会にはなるべく出席して土地改良区の仕事を理解しようと思いました。その結果、理事会の話し合いの内容が理解できるようになりました。	初めて理事になる人が戸惑わないよう仕事内容や会議の進め方共有できる仕組みを整えたい。	最初は誰でも初心者です。焦らず一緒に学んでいきましょう。	理事の役割や業務内容が分かりにくい部分があり、初めて理事になる人にも分かりやすい資料や説明の機会があると安心だと感じている。
富山県	朝日町 土地改良区	(一社)朝日町観光協会 元富山県職員(総合土木)	員外	員 上澤聖子	2年	総務	自分が得意な広報活動として、土地改良区だよりの作成に協力しました。制作費や印刷代の経費削減にもつながりました。	農業やそれを支える土地改良区事業の大切さを、非農家も含め発信していきたいです。	朝日町土地改良区の事務局や理事のみなさんが、とてもあたたかく迎えてくださいました。ゆっくり学びながら大丈夫です。	女性理事は員外で2名と決まっていたので、はじめでも入りやすかったです。他の土地改良区でも、そのような形で女性理事の登用が進んでいくといいなと思います。
石川県	小松東部 土地改良区	父親が個人農業経営者(水稲・兼社担)で、長年土地改良区の役員として業務に関わっていた。私自身は会社勤務をしていますが、農業の繁忙期には両親の手伝いやご飯用意をし、家族みんなで農業に取り組んでいる。地域活動にも参加。	員内	員 田村明美	3年	総務・会計	会議等の受付を行い、役員及び総代の方々に話しかけるよう心がけている。清掃ボランティアに参加し、男性役員は水路の泥上げ、私は高校生と共に花苗の播種を行い、自分でできそうなことを率先して行う心がある。	私自身初めて理事になり、簡単に「理事とは…」の研修を事務局からして頂きましたが、仕事内容や会議の進め方をもっと共有できる仕組みを整えたい。	最初は理事会等の内容も全くわかりませんでしたが、ほかの理事や職員(特に女性職員)に気軽に質問や相談ができます。また、会議等の日程も事務局で早めに調整していただけるので、仕事との両立も心配いらないです。	まだ3年目のため、課題や改善など思いつかない。まずは、自身の改良区の理事の業務をこなす事で精一杯です。
福井県	木の本原 土地改良区	嫁いで50年、3人の子供を育て嫁が専業一筋取り組んでいる。	員内	員 下河知登美	3年	庶務	役員さんの足手まといにならないように、自分で理解していくよう心がけている。	初めて理事になる人が戸惑わないよう仕事内容を共有できるように整えたい。	無理をせず自分らのやり方で学んでください。	次の世代に安心して役割を引き継げるよう資料や説明の機会があるといいと感じています。
福井県	四ヶ浦小橋 土地改良区	法人等の理事や、町や地域での各種ボランティア活動をしています。	員内	員 瀧野治代子	8年		理事の役割の1つから女性と話し話機会が多い点を生かし、出来るだけ生の声が聞けるよう心がけた。	定期的な理事会において問題点をもっと話し合えるようにしたい。	女性理事ということにこだわらず、気楽な気持ちで一緒に考え活動していきたいでしょう。	耕作者の減少、高齢化から見えて来る改良区の維持管理、次世代への引き継ぎ等の課題を解決していくべく意識の共有を図ることが大切だと感じている。
岐阜県	萩原小坂連合		員内	員 田立洋子	約2年	会計担当	理事会等への出席 今どんな事が問題でどんな事業をしているのかを知れた	気負わず自分のことを行っていけばいい。	各地域で農作物を各種出荷しておられる人の体験などを東海ブロック参加時にお聞きし女性理事も重要でまずは参加する事が重要だと感じた	高齢化・脱退など組合員も少なくなっており次期理事をお願いする方がわずかになりました。2年任期で数年後は該当者がいなくなりそうである。
愛知県	茶屋新田 土地改良区	農家に嫁ぎ、家事をしながら田・畑仕事を行う。子育て後は、土地改良区ほか地域の活動にも参加。地区からの推薦により理事に就任	員内	員 坂野三重子	2年	総務	理事は男性ばかりで女性は自分ひとりであったため、一歩下がって遠慮しながら「間に合いませんのぞ」という気持ちで務めた。女性理事の研修では、同じ立場の方々と交流ができたことと感謝している。	気負わず自分のことを行っていけばいい。	男性では気が付かないことは気が付いた自分が、女性ではできないことは男性に任せる。お互いに助け合い。女性ならではの要領・感性を生かしていきたい。	大まかでもよいので、改良区の一年間行事予定の作成が必要。
三重県	湊代 土地改良区	農協に勤務し、日常的に稲作や野菜づくりに関わってきた。定年退職後、当時の理事長からの推薦を受け理事に就任。	員内	員 深和代	5年	理事	制度や前例、数字だけで判断するのではなく、実際に管理や維持に関わっている方、事務を担当している職員、そして地域の方の「困っている理由」を理解することを大切にしました。その一つとして、複式簿記への移行期間において、円滑な導入が進むよう会計と期間契約を結び、専門的な助言を受けられる体制を整えました。これにより、職員が不安を抱えながらも手探りで対応するのではなく、確認・相談ができる環境の中で、着実に制度移行を進めることができたと感じています。これまで昔気質の「当たり前」とされてきたやり方について、安全面や将来の維持管理の観点から見直しを提案できたこと、また、事務局や若い世代が意見を出しやすい雰囲気づくりに少しでも貢献できたことと感謝しています。	理事会は専門用語や過去の経緯が多く、特に初めて理事になる方にとっては、質問しづらい場面も少なくありません。「聞くことで迷えるなかも」「今さら聞かなくていい、」という雰囲気もなく、立場や経歴に関係なく、積極的に疑問を口にしている雰囲気を感じています。	女性でも引け目なく、最初から知識が揃ってなくても、遠慮せずに現場の感覚や生活者としての視点を出していただくことは、組織にとって大きな価値になります。最初は取っ付き難いと感じてしまっても構いませんが、あなた自身の経験や気づきは、必ず組合員の助けや改良区の制度改善につながります。どうか自信を持って、一歩ずつ進んでください。	課題として感じているのは、女性理事がまだ少数であるがゆえに、個人の意見が「女性代表」というに受け取られてしまう点です。女性理事が特別な存在ではなく、当たり前に複数名参加している状態をつくることで、結果的に組織全体の意思決定の質を高めると感じています。そのために、理事就任のハードルを下げる工夫や、就任後のフォロー体制の充実を全土連で今後さらに進めていく必要があると思います。
三重県	立梅用水	農家に嫁ぎ、村議会、町議会を合わせて3期務め、立梅用水の開設をお芝居で伝え、劇団の団長を務める。また一般社団法人の代表理事も務め、多面的機能支払の協議会や農村RMOなど地域活動に取り組んでいる	員内	員 中西眞喜子	10	なし	特別な事は何もありませんが1日1日地域のことを地域のためにと心がけている。	自然体でやっていければ良いと思う。素直な意見を述べれば良いので良かったです！！		今や、どの分野にも、女性が活躍されているので驚くならば、男性側の考え方に以前の風習が残っているのではないのでしょうか？
滋賀県	琵琶湖平野小中之間 土地改良区	高校卒業後、滋賀銀行に10年間勤務。退職後は、夫と共に兼業農家として稲作を継続して現在に至る。JAの総代も2018年から勤めている。	員内	員 山本治美	4年	総務	理事になってから分からない事ばかりだったが理事長や先輩でなくとおっしゃって下さり、分からないことは質問することが出来るようになった。	地権者と耕作者の未来ビジョンを話し合い、統一した意思を持つことと進むべき道筋をつけること。	性別に関係なく、農業に取り組む仲間として発信していきますよ！	高齢化が進む世代交代がいてい中で、若い世代の意見を取り入れて未来に繋げて行くこと。
滋賀県	彦根市北部 土地改良区	ご主人を亡くされてから、当改良区組合員となる。子は兼業。本人は営農者で地元農業組合の理事経験あり(2年)。	員内	員 松林一子	2年	第一区長	出来るかぎり役員会には出席することにしたい。いろいろ知ることが出来た。	家に男の人がいないので、女の人が仕方なく出てくる。当然少なくなる。最初から女の何人か決めてはいいかなですか。	女の人が頑張りますよ。しっかり意見を述べましょう。	男の人だけでは、分からないことも多々ある。女の人が入ってこそ多様な方面からの話し合いができる。所によっては男の人じゃないとダメという町もあるのではないのでしょうか。

都道府県	土地改良区	所属・経歴	区分	氏名	理事歴	担当業務	Q1 理事として心がけたこと・成果	Q2 後輩理事のために ご自身が変えていきたいこと	Q3未来の女性理事に 向けたエール	Q4課題や改善を求めること
滋賀県	彦根市北部土地改良区	ご主人を亡くされてから、当改良区組合員となる。子は独立。非農家。農業関連の活動歴はない。	員内	北村有子	2年	干拓工区(後無し)	土地改良区の仕事を理解するよう心掛けました。		自分のできる範囲で頑張ってください。	
滋賀県	彦根市北部土地改良区	ご主人は介護状態、組合員となる。子は独立。農業関連の活動歴はない。	員内	澤村美洋子	2年	第一工区(後無し)	たまたまでするやがべきことによる。	営農をするより家庭菜園を楽しみたい人が多い今、負担するバランスが平等ではないと思うので、脱退する手立てがあると良い。	女性で営農する人はすばらしい。ぜひ頑張ってください。	行政のお世話になると支配されることも多くなるので、出来るだけ個々にするようにし自由を求めます。
大阪府	河南町河南西部土地改良区	本職 よっぴー農園 いちご農家。経歴 45歳で米パン工房「ファームベーカーリー米夢」を友人と二人で立ち上げ。友人が60歳になり7年目に閉店。当時の年商は約18,000千円。52歳になった14年前に六次産業化を目指し、「米パン工房 いちご畑の米夢ちゃん」を家族の協力を得ながら立ち上げる。	員外	和田育子	3年	女性部会	・理解の浅かった土地改良区の活動を学びながら、女性の視点で気づいた点を伝えるよう努めた。 ・小さな改善提案や意見を共有し、運営に多様な視点が入るよう貢献した。 ・他の改良区との交流を通じて情報を得て、自区の取り組みを見直さきっかけをつくれた。	女性部会の農業体験や食育活動を通じて地域に貢献し、将来の担い手づくりにつながる取り組みを進めたいと考えている。また、女性メンバーに改良区の役割や活動内容をより知ってもらえるよう、分かりやすい情報発信にも取り組んでいきたい。	理事を引き受ける時に助言いただいた言葉です。男と女は身体の作りも違うように考え方も違う。女は女の方考え方で男と共に力を合わせてこそ実りある事ができる。	土地改良区の事業内容が分かりにくく参加しづらいこと、男性中心の雰囲気や女性が入りにくいことが課題。事業の見える化と、女性が2人以上で参加できる体制づくりが必要だと感じている。
兵庫県	加古川西部土地改良区	兵庫県の嘱託職員として土地改良区事務所に5年間勤務した経験から兵庫県東播磨土地改良区に在職中(平成19年～)。受益者としてお世話になっている加古川西部土地改良区の員外理事に就任。	員外	内藤美由紀	2年	縦横金等調整	2つの国営土地改良区の情報交換に努め、見聞を広めるとともに各土地改良区が抱える問題解決の糸口を模索するよう務めた。 初めて取り組む案件の事務処理が相互協力によりスムーズに行うことが出来た。	理事の役割を明確にするとともに、その仕事内容について学ぶ機会を増やすよう提案する。	何気ない井戸端会議を侮るなけれ。組合員の声が届きやすくなるよう、コミュニケーション能力を発揮しましょう。アットホームな雰囲気づくりは女性の真骨頂。	組合員の農業に関する相談窓口としての機能を高める。組合員と理事役員と改良区職員とのワンチームとしての意識を高め連携強化を図ることが重要であると考えている。
兵庫県	草谷川土地改良区	(一社)ため地みらい研究所 特別研究員。研究所の理事を通じて、担い手不足や女性理事登用の必要性があった土地改良区から外部人材として参加を依頼され、員外理事に就任。普段は兵神機械工業株式会社で設計業務に従事しており、農業や会計の経験はなかったが、土地改良区の会計事務や運営補助に携わっている。	員外	藤本恵理子	2年	会計	外部人材として土地改良区に関わる立場であったため、地域の理事の方々の話をよく聞き、組織運営をすることを心がけました。会計事務や補助金整理、総会費性の作成などを担当し、総会で会計説明ができるまで業務を整理しました。員外理事制度を活用し、女性・外部人材が運営に参画する事例となり、会計の見える化にもつながりました。	土地改良区の業務は経験がないと分かりにくい部分が多いため、会計事務や運営手順の整理、簡易マニュアルの作成などを進めていきたいと考えています。業務の見える化を進めることで、女性や外部人材など多様な人が関わしやすい環境を整え、次の世代が安心して役割を引き継げる体制づくりにつながりたいと思います。	私自身も最初は分からないことばかりでしたが、地域の理事の方々に教えていただきながら少しずつ理解してきました。土地改良区は農地や水を守り、従来の体制だけでは対応が難しくなっています。員外理事制度の活用が生まれると感じています。地域とのつながりを大切にしながら、ぜひ前向きに関わっていただければと思います。	土地改良区では役員の高齢化や事務を担う人材不足が課題となっています。特に小規模な土地改良区では会計や補助金管理などの業務が複雑化しており、従来の体制だけでは対応が難しくなっています。員外理事制度の活用により外部人材や女性の参画を進めるとともに、業務のマニュアル化や人材育成の仕組みづくりが必要だと感じています。
奈良県	大和高原南部土地改良区	26歳から保育士として23年、事務13年間勤務。退職後は、米作りやブルーベリー栽培に取り組んでいる。長年の経験を生かし、学童保育や子ども食堂等、地域のボランティア活動に積極的に参加している。当土地改良区の初の女性理事に就任する。	員内	向田歌子	2年9ヵ月	未納対策委員	女性ならではのコミュニケーション能力を生かし、親しみやすい存在となる。地域での情報共有を進める。少しでも地域のためになればと思っている。	理事を受ける時、最初は不安が大きかったので、年間の会議日程や業務内容等の資料を作成する。後輩理事が何でも気兼ねなく話せる環境づくりに配慮する。	今まで培ってきた経験を活かそう	理事の役割や内容が分かりにくいので、初めて理事になる方のために、資料や事前の説明会があると良い。また、意見交換会等の機会を設けてほしい。
奈良県	小林土地改良区	父の後を引き継ぎ土地改良区の行事に参加するようになりその後輩理事に就任しました。現在は兼業農家で米作りと畑で農作物を作っています。	員内	西畑規子	9年	会計	会計担当として適正、正確な会計処理を心がけてきた。会計担当をすることで今まで把握できなかった運営状況、資産の動き等財務諸表を通じて理解ができたと思います。	改良区の業務内容の見直しや理事が疑問と思うことをそれぞれが意見を申し合い負担とせざる業務が出来るように話し合うこと。	最初はわからないことばかりです。急がず無理をしないで。私もまだまだ勉強中です。	農業従事者の高齢化が進み又後継者不足が深刻な問題です。今後土地改良区の活性化をどのようにするかが課題です。
和歌山県	南紀用水土地改良区	高校卒業後、地方公務員として村役場に6年間勤務。結婚を機に退職し、出産・子育て、そして畑仕事や地域の婦人活動に参加。農業女子で結成したグループ活動を立ち上げ、続けている。夫婦で営農、農産物の加工・販売に取り組んでいる。(またこれまで農業者、農業委員会委員などとしても活動)	員外	二葉美智子	8年	庶務	理事会には必ず出席しようと考え、出席してきました。庶務担当理事になり、事務処理を担ったことで土地改良区についての理解も深められました。また、研修会や現地研修の機会には、他地区の役員や職員との交流を通じ、幅広く理解を深められました。	特になし。後任の女性理事には、私と同じ庶務担当を経験してもらいたい。そして同じように事務局との交流を深めてほしいと思っています。	気負わず経験を重ねてください。自然と経験値が上がります。それで十分だと思います。	研修会でもなんでも交流する機会がたくさんあるとうれしい。皆さんの体験や経験が、私にとっての新しい知識やひらめきになります。また土地改良区に限らない交流も、いろんな話ができるのと感じます。
和歌山県	川辺町周辺土地改良区	高校卒業-紀陽銀行就職(4年間) 23歳結婚 36歳-平成11年11月11日 JA就職 支店窓口、金融後方事務 50歳-くらしの活動課へ移動 地域住民活動、食農教育活動 58-60歳定年まで Aコープへ移動 61歳 JAバート 購買事務	員外	大谷知美	2年		土地改良区の仕事自体、よくわからないまま理事就任でしたので、まずは、理事会に出席して、組合員の状況や、事業の状況を理解しようとして心掛けた。就任して3ヵ月後にポンプ場の視察をさせて頂き、この事業の社大さと重要性をひしひしと感じ、地域社会を支えているんだということが理解できたのが、自分だけの成果だとと思います。	女性理事として、自分の役割が解けるような(簡単なことしかできないです)が一言があれば不安がないかと思うので、明確な何か一つ一つでも増やせていければと思います。	女性ならではの感覚で、女性だからこそできることがあるはずです。難しいことはわからなくても自分の言葉で伝えることができればいいんです！	年間を通しての予定を就任時に資料として説明、仕事を持っていても段取りができやすいように(いつも早く知らせてくれるのでありがたいです)そして、この土地改良区のスローガンである「水を拓く」の言葉を農業に携わる方にはもちろんの事、子供達にも簡単な言葉で勉強してもらえれば良いのかなと思います。
和歌山県	川辺町周辺土地改良区		員外	熊谷重美	2年		理事になって間もないので、どの質問にも答えられるほどの経験も知識もありません。思しからずご理解ください			
広島県	三次市土地改良区	短大卒業後、会社員として5年間勤務。結婚後、家業の農業に従事し、水稲を25年栽培してきました。地域の理事さんからの推薦により員外理事に就任。	員外	角一由紀子	2年		周囲に相談しながら、理解を深めるよう努めてきました。自分のできる役割や仕事を責任もって取り組むことを大切にしました。	理事の役割が分かりにくいので、仕事内容や会議の議め方などを見直し、だれにでも分かりやすい明確にできるようにしたいと思います。	私もまだまだ未熟ですが、常に学ぶ姿勢を大切にしながら、一緒に成長していきたいと思っています。	理事の役割や業務内容が分かりにくい部分があるので、それらを整理し、分かりやすい資料や仕組みがあると良いと思います。
山口県	山口市阿知須土地改良区		員外	粟谷孝子	2年	-	理事になった当初とあまり変化なく、まだまだこれからです。	役割が理解出来ないのので、一緒に勉強していきましょう。		
山口県	山口市阿知須土地改良区		員外	岩川恵子	2年	-	当初は分からないまま一歩踏み出し、2年少しは頑張ったと思います。	理事になる人が戸惑いがない様にしたいです。		
山口県	下関市豊田町土地改良区	実家で両親が酪農と農業を営んでおり、幼少期より長女として手伝いをしていた。農学への興味があることから農業大学校で勉強をして、現在も主人と子供と共に営農に励んでいる。	員外	河本陽子	4年	指名審査担当	まずは、土地改良区がどんな運営をしているかを把握することに努め、分からない点は日事務局員に質問するようにした。	初めて理事になっても、分かりやすい資料の提案などをしていきたい。	自分一人で頑張るのではなく、事務局も他の理事もみんなと一緒に考えるので不安に思わなくて大丈夫です。	女性だから分からない部分などは、フォローしてくれる環境があれば良いと思う。
香川県	舟岡地土地改良区	高校卒業後、地元金融機関に8年間勤務。結婚を機に退職・就農に至る。農業に従事する傍ら、市内の女性農業者の活動、食育や地産地消に積極的に取り組み、高松市・東讃・香川県の会長を歴任している。また、高松市農業委員として、農地行政の推進に携わっている。	員外	佃俊子	2年		地域の自治会において、土地改良区の役割や活動を積極的に伝えるようにしている。非組合員から、声を掛けられる事も多くなり、土地改良区事業の諸経費のお願いにも協力的になった。	老若男女問わず、誰でも理事になりやすい環境作り。	あなた一人ではないですよ。まずは、自分の出来る事から始めましょう。	初めて理事になる人たちに、理事の役割や業務内容の勉強会・研修会の開催をお願いしたい。また、土地改良区事業の役割や活動の見える化、広報活動が必要だと感じている。
香川県	西庄土地改良区	地方公務員を定年退職後、福祉施設で勤務。現在は人権擁護委員、民生児童委員、麻薬冤罪対策推進委員、社会福祉相談委員などの各種委員努めと共にボランティア活動にも取り組んでいる。非農家から農家に嫁いだのが、現在は農地を農業法人に貸している。	員外	山下芳子	2年		役員会のほか水土里ネット女性の会や研修会に積極的に参加し、農業に携わる人とのつながりを深めるとともに、農業の課題や土地改良の改正点、会計などを理解するよう努めてきました。	いろいろな意見を傾け、わからないことはその都度尋ねる。そして、将来は情報発信ができるようにしていきたいです。	先輩たちから教えてもらえる今、そして自分が学べることが出来る今がチャンス、一緒に学んで行きましょう。	若い世代や女性ももっと参画しやすいよう、土地改良について、またその活動の周知。
香川県	西庄土地改良区	農協、中国四国農政局に勤めていた経験があり、現在は地域の公民館に勤務。実家は農家で主に米つくりをしている。	員外	安藤敦子	2年		土地改良区というのは知っていましたが、内容等の知識は皆無で不安しかありませんでした。女性としての特性を活かして積極的にサポートしていけたらと考えています。	理事の役割がわかりにくいので、土地改良区のことを私自身も勉強して、多くの女性に理解してもらいたい。	男性が多く女性理事として不安がありますが、男女の隔てなく地域の一員として活動しましょう。	理事の役割が分かりにくいので新しい人にもスムーズに引き継げるよう資料や説明会、研修会があると不安も減少すると感じます。

都道府県	土地改良区	所属・経歴	区分	氏名	理事歴	担当業務	Q1 理事として心がけたこと・成果	Q2 後継理事のために ご自身が変えていきたいこと	Q3 未来の女性理事に 向けたエール	Q4 課題や改善を求めること
愛媛県	通前平野 土地改良区	西条市東予土地改良区収支部事務員	員外	畠田美佳	2年	-	会や行事等には積極的に参加しようと思っかけています。 自分の地域だけでなく、他の地域の活動や労苦を知り、気づかないことも多くあった見識があった。	土地改良区のことを、関係者だけでなく、地域のみんなが知っている組織にしていければ、自然と後継者にもつながると考えています。	積極的に行事に参加してみると、疲れた後も、心よれ気持ちになれます。	土地改良区を知ってもらうこと。女性にもできることを広げる必要があると感じています。
福岡県	稲童	38年間の小学校教員を60歳で定年退職し、地域のボランティア活動や家庭菜園に助んでいた矢先、夫が鼻癌に入院しました。代理で園場整備の説明会に参加していたら、協力をお願いされ、役に立つならと理事長を引き受けました。同時期に、教育委員の依頼も頂き2年目を迎えています。	員内	尾崎環	2年	総務	何をどう考えればよいのか不明の当初でしたが、県や市の方々と会う機会にはほぼ同席し、参加できなかった理事や監事への報告を心がけました。理事・監事参加の役員会は、自由発言できる会になっていると思います。	自分に課された業務は、状況や理屈を考えて思い悩むより、まず行動する(特に交渉など)、思い切っって前に進んでみるようにすることを心がけています。	目指すのは「生産しやすい田畑をつくり、未来に繋ぐこと」です。そのため、自分の時間を少し増らそう「今は未来への時間の投資期」と考えましょう。	理事としてすべき事が誰にも見えにくいこと。園場維持管理の組織、事務局の業務と理事連の業務の「見える化」がどのようにならば図られるのかということ。次の世代に引き継ぎできるようにするために成すべきことが分らないこと。
福岡県	山川地区 土地改良区	農業委員として23年目になり、9年前から取り組み始めた山間地の基盤整備事業の中で4年前、理事に推薦され就任しました。	員外	徳永順子	4年	一	大規模な山間地の基盤整備事業なので想定外のことも多いが、困難な場面で、事業に関わる皆さんが前向きになれるよう意識して動いた結果、結束力が高まったと感じています。	土地改良事業に加わることは、女性にとってハードルが高いことを実感している者として、後継理事の為に分かりやすいマニュアルが出来るように動いていきたい。	新しい分野に入って行くことに不安があっても、そこには男女問わない先輩や仲間がいてそこから広がる世界は素敵なものですよ。	土地改良事業のこと自体が、女性はもちろん男性でも関わる機会が少ない皆さんには理解されていないことが分かり、先ずは知っていたか為の体制作りが必要だと思ふ。
佐賀県	鍋島東 土地改良区	昭和44年農家に嫁ぎ、夫亡き後は息子と共に現在も農業に従事しており、自分は畑仕事に励んでいる。	員内	中嶋スエ子	3年	庶務	理事就任前は、他の組合員の考えなど知ることなかったが、書類の配付や回収業務で、各組合員と直接顔を合わせることで、様々な思いに触れる事があり、気づきとなっている。	正直、今の自分が何かを変えているとは思えないが、女性理事の第1号として就任したので、2号3号…となる方々への声掛けはしていきたいと思ふ。	70代の自分でもお声ひびかせて頂いているので、もし声が届いたり、チャンスが巡ってきた時には、是非引き受けてみて下さい。	現在、計6名の理事の内、女性は自分だけなので、今後女性理事が複数人になれば、もっと目に見える形で何か出来るのかも知れませんが。
佐賀県	鹿島市 土地改良区	結婚後、夫と共に農業に従事。夫亡き後もみかんと米作りを1人で続けている。	員内	松本ちづよ	3年		土地改良区の役員集落内の取り決めによって順番に推薦されるので土地改良区についても知らないことばかりで、まずは土地改良区というものを知らなくてはならない。	女性理事が少ないので、前例の出来たことにより今後女性理事の登用が増えて欲しい。	Q2と重複するが女性理事1人で居づらさがあるので女性理事の数は増えて欲しい。	
長崎県	三会原 土地改良区	結婚を機に島原の農家へ就農 自然と野菜に囲まれ毎日楽しい日々の生活。 夫の監事時代に、女性理事登用の話がきて交代という形で理事を引き受ける。 農林水産省食料・農業・農村政策審議会農業農村振興整備部会の委員として7年目になる。	員外	松本綾子	2年	会計	理事に就任した当初は、男性ばかりの中に入り込み「んでもないことを引き受けてしまった」と正直もった。理事として心掛けたことは立場に関係なく現場や先輩理事さんの声に耳をたかたむけること、そして農家として生産者としての視点を大切にすること。	理解できない事(用語)もありますのでわかるような仕組み作り。その結果、会議の中でも意見を出しやすくなり雰囲気もよくなり女性理事として関わるのが特別ではない環境に少しずつ近づいていくと思う。	理事という立場は、特別な人になるものでもなく、現場で働き、悩み、考えてきた一人一人が担える役割だと感じる。迷いながらも関わるのが未来の農業のため！一緒にいていきましょう。	多様な立場の意見が活かされる組織作りが必要。理事として何をしたらいいのかの役割指導。
長崎県	郷ノ浦東部 土地改良区	JA壱岐市総代、JA壱岐市婦人部会所属、認定農業者	員内	長崎真由美	3年目		最初から勉強する事ばかりで大変だった。理事長をはじめ先輩理事や職員が丁寧に教えてくれるので、流れが分かるようになってきた。しっかり話を聞くと事を心がけ自ら行動できるようになった。	日中は仕事の方も多いため会議の日程など負担にならないように変えていきたい。もちろん家庭との両立を含め考えていきたい。理事の役割や仕事内容などわかりやすい資料を作成していきたい。	最初はみんな不安です。案ずるより履むがやすし！思っていたよりも気楽にやれますし、人と人の繋がり他理事にも生かれます。	理事の役割を可視化すること。Q2のように役割や仕事内容、日程を分かりやすい資料にまとめること。施設の案内や説明を簡単に図面化してほしい(初めてだと施設・設備の知識が乏しいため)
長崎県	郷ノ浦東部 土地改良区	令和2年より農業に専従	員外	山内美恵子	3年目		最初は専門的でわからない事ばかりでしたが、理事会に出席し先輩方の意見を聞くことを心がけ少しずつ理解できるようになりました。	理事の役割が分かりやすい資料が作成できたら良いと思う。	今まで交わることがなかった職員との交流や、会合に出席・参加することで自分が成長できる機会となりました。	地域の農業経営の現状から、後継者不足が懸念されますが、女性理事が選出されると良いと思ふ。
長崎県	戸辺 土地改良区	農協活動歴あり。 JA女性部・地域女性部・更生会等地域のボランティア活動に積極的に参加している。 施設園芸(主にイチゴ栽培)と米作りに取り組んでいる。	員外	米倉佐代子	3年目		理事になった当初は何も内容が分からず男性理事の意見を聞くばかりだった。少しずつ理解できてきたので女性の視点からの意見が出せるように頑張りたい。理事の仕事を通じて地域農業経営の現状やそれまで知らなかった地域の姿を理解できた。	最初は何でもわからない事ばかりですが日々勉強させてもらっている。会議の日程が定着してくると他の行事、仕事をくみやすくなると思う。	昨年より女性のみの研修会が開催されているので少しずつ理解できると思います。今後理事になられる方は、農業に携わっている方(認定農業者など)でもっと少し若い世代にも参加してほしいと思います。	外部との連携をすすめてほしい。例えば、学校などで子供たちに農業用水路や水田を利用した環境学習等。土地改良の役割を伝え次世代に興味をもってもらいたい。これは、将来的に水の大切さを知るいい機会になると思う。
長崎県	戸辺 土地改良区	10年前より米作りや畑かん、中山間に係るようになった。 民選委員やまちづくり協議会のボランティア活動をしている。	員外	眞竹みさ子	3年目		女性理事としての役割を理解し、多くの経験をつみたいと思っている。	理事の役割が分かりにくいので、仕事内容や会議の進め方等アドバイス出来るようになりたい。	女性にしか分からない点があると思うので気付きを会議などに生かしていきたいから良いと思います。	理事の役割や業務内容が分かりにくいので、資料や説明の充実をお願いしたい。
長崎県	桃山田 土地改良区	高校卒業後、旧千々石町職員・雲仙市職員として勤務。 令和4年3月退職。その後営農を本格的に始め、主に米、馬鈴薯、畜産(繁殖牛)を行っている。現在は保護司、主任児童委員を務めている。	員外	山中真寿美	2年		事業の進捗状況や、報告事項、様々な案件を協議する毎月の理事会には、必ず出席するように心がけています。	事業の進捗状況や、報告事項、様々な案件を協議する毎月の理事会には、必ず出席するように心がけています。	家庭や仕事と両立するのは大変かもしれないが、できるだけ会議等には出席してもらえようように心がけています。	理事の役割や業務内容がわかるように、新理事向けの研修の機会があった方が良いでしょう。
長崎県	桃山田 土地改良区	平成3年に嫁ぎ、営農に携わっている。平成10年頃から主人と二人で馬鈴薯、玉ねぎ、米、路地野菜を耕作しており、現在は農協婦人部の役員を務めている。	員外	荒木由紀子			毎月の理事会には積極的に参加するようにしています。	基盤整備完成の最終年度の理事ということもあり、会議出席と年に1回の研修会で私自身も事業の勉強中です。特に変えたいことはありません。	特にありません。	特にありません。
長崎県	南島原 土地改良区	結婚後、専業農家として農業に従事する。 男女共同参画の推進活動、地域の活動に参加	員外	川田とも子	2年		初めての理事でわからないことばかりでしたが、会議に積極的に参加し、女性の視点から理事会で伝えるようにしています。	会議の日程が、家庭と仕事に負担にならず、初めて理事になる人にも積極的に参加できるようにしたいです。	何事にも興味を持って、楽しんでいきましょう。	理事の役割など分かりやすくし、仕事と家庭との両立しやすい運営にしたいです。
長崎県	南島原 土地改良区	農業委員を14年(内、会長職2年) 農家に嫁いで33年、農業に従事	員外	太田善代子	2年		理事会には必ず出席し、しっかり話を聞くこと。	専門用語を速く理解する仕組みを作りたい。	頼まれ事はためされ事、可能であれば、引き受け、チャレンジしましょう。できることはできるだけ。	
熊本県	甲佐町 土地改良区	甲佐町産売所に勤務しながら、20年ほどパソコンのスクール講師をしている。	員内	高橋由加里	2年	庶務	農業に対する知識がないため、改良区活動(災害時の見回り等)の際は、積極的に参加するようにしている。 事務局が女性一人なので、理事会などの際、事務局職員の負担を減らせるように心がけている。	新任理事がスムーズに活動に入れるよう、改良区の基本や活動紹介の説明をする機会を充実させることで、理事としての役割を理解しやすくしたい。	昔めかしいイメージがあるが、1度踏み込んでみると、女性に対する理解があったり、女性を求められたりしているのでも、大きすぎる責任は感じなくて良いと思います。	機械の操作等慣れた人が簡単に行動ので、初めての時は戸惑いを感じる。基本の勉強をする機会があれば良いと思う。
熊本県	委島 土地改良区	家族で土地改良区に以前から関わりがあり、地域活動にも参加。 米作りに取り組んでいる。 JA女性部役員	員内	清田恵子	2年	会計理事	現理事の中で最も年長者なので、他の理事が意見を言いにくくならないように努めている。	理事会・改良区の雰囲気や、活動がやりやすいので、このままの雰囲気を継続させる。	女性にもできることは色々あるので、気負い過ぎず取り組みたいと思ふ。	男性が圧倒的に多いので、他の地域の女性たちとの横のつながりをもっと築く場が欲しい。
宮崎県	杉安塚 土地改良区	【土地改良区関係】 杉安塚土地改良区理事(2年目) 日本のひなた水土里ネット女子会会員 【その他】 台湾公務員省職機務促進委員会 台湾交流コーディネーター、ピアノ教師、エアロビクスインストラクター	員外	黒木萌々香	2年	水管理	理事としてまだ経験は浅いですが、分からないことはそのままにせず、積極的に質問しながら学ぶように心がけています。 杉安塚土地改良区では私が初めての女性理事として関わることになりましたが、親りの方々が丁寧に教えてくださり、安心して学ぶことができています。 家族が米農家ということもあり、水や農業の大切さを身近に感じながら、少しでも地域に役立つよう努めたいと思っています。	土地改良区の活動や理事の役割は、初めて関わる人にとって分かりにくい部分があると感じています。 新しく理事になる方でも安心して活動できるように、役割や業務の流れを分かりやすく共有できる仕組みがあるようにしたいです。 また、男性中心の組織であったこと、施設面では女性用トイレがないなどの課題もあります。こうした点については理事会でも話観しており、今後少しずつ改善していくことが大切だと感じています。	最初は何もわからないことも多く不安もあると思いますが、理事の活動を通して多くの学びや出会いがあります。 自分の視点や気づきを大切にしながら、地域のために活動していきたく思います。	次の世代が安心して役割を引き継げるよう、業務内容の共有や引き継ぎしやすい体制づくりが大切だと感じています。 女性を含め、さまざまな立場の視点が加わることで、より良い土地改良区の運営につながっていくのではないかと感じています。 これからも地域の皆さんと協力しながら、学び続けていきたいと思ふ。
鹿児島県	姶良市山下 土地改良区	女性理事が必要と理由にて、夫と交代で理事となりました。	員内	横田まゆみ	2年	理事	理事になる以前は、夫の代わりに水利費の徴収などは行っていた。会議等では質問や難しいことはわからないが、簡単なことは提案なども出来るように心がけている。	理事に初めてなる人は、丁寧に説明や、指導を出来るように自分自身も学習していきたい。	事務所属男性に任せて、後方支援と頑張ります。	土地改良区の理事の仕事とは、少しわかりにくいこともありますが、やってみても良いかなと思ってもらえるような資料や説明などを準備する場が揃えれば良いのでは思ふ。
鹿児島県	姶良市山下 土地改良区	看護師をしていたが、4年前に転職。現在は農業をしている。地域の推薦によって理事に就任。	員内	清藤小百合	2年	理事	理事になった当初はわからないことばかりでした。同じ理事の方と共に作業を行い、草刈りなど水路の維持に努めました。	理事内での明確化。	明るい農業女子を目指しましょう。	理事の役割、業務内容をわかりやすくしてほしいです。
鹿児島県	財部町 土地改良区	家業である畜産業を夫婦で継承し、子育てと両立しながら日々奮闘している。	員外	戸高恵	2年	無	当初は土地改良区に関する知識がなく不安もあったが、理事会等を通じて、組織体制や業務内容の理解が深まった。	まだわからないことも多いが、自分がかつたこと伝えています。	不安もあると思いますが、無理のない範囲で、少しずつ取り組んでいきましょう。	当改良区の理事会においては、特定の方の発言が中心となり、他の方が発言しにくい雰囲気があるように感じています。今後は、より多くの方が意見を出しやすい理事会になることを期待しています。
沖縄県	久米島町仲里 土地改良区	土地改良区業務関連の多面的機能支払交付金事業(保安の会)等に積極的に参加している。	員外	吉本清美	2年	一	当土地改良区の女性理事は1名の為、会議等では一人の意見としてではなく、地域女性の代表意見としての発言に心がけている。	男性中心組織の中に於いて、専門用語等で分からない言葉が出てきた場合や意見がある場合は遠慮なく、その旨の発言が出来る状況をつくること。	最初は何もわからない意見も発したりして突かれたりすること多々ありますが、逆にしてそれが周りを和やかな雰囲気をつくり意見が言いやすくなります。なので最初はこの業務に詳しくなくても動きます。	土地改良区関連について困ったことがあった場合に女性でも気軽に土地改良区事務局に足を運んで、相談ができる状況をつくる。

都道府県	土地改良区	所属・経歴	区分	氏名	理事歴	担当業務	Q1 理事として心がけたこと・成果	Q2 後輩理事のために ご自身が変えていきたいこと	Q3未来の女性理事に 向けたエール	Q4課題や改善を求めること
沖縄県	沖縄本島南部 土地改良区	JAおきなわ糸満支店女性部長、糸満市農業委員として活躍。 さとうきびの栽培のほかJAおきなわガス検針員として業務に取り組む。	員外	久保田政子	1年	総務	土地改良後の畑に作物が植えられている、農地を見ると農作業がしやすくなっていると感じます	初めて理事になる人にも分かりやすく、業務内容を説明して欲しい。	焦らずに学んでいきましょう	理事の役割や業務内容がわからない部分が多く、理解するのに難しい。 先輩理事とも交流を持ち、勉強していきたいと感じている。
沖縄県	沖縄本島南部 土地改良区	JAおきなわ糸満支店女性部副部長、糸満市農地利用最適化委員として活躍。 ご主人と共にさとうきびを栽培している。	員外	赤嶺三枝子	1年	総務	1年目で右も左もわからないのが現状でしたので、理事会、県外大会（佐賀大会）、県内視察（伊是名）に積極的に参加させて頂きました。 少しですが、事務局、理事の皆様との役割運営の流れがわかるようになりました。	まだまだ、各地域の女性の理事起用が少ないので、各地区との女性理事、員外理事の女性だけの勉強会、交流会を作っていけたらと思っています。	まずは参加してみること！ 誰でも最初があります。 仲間作り、勉強させてもらおう気持ちで良いと思います。	今、国も女性起用を推進しています。各種団体でも女性採用率25%～30%を目標にしています。 できるだけ2人～4人単位、偶数での起用を希望致します。 とにかく、交流が絶対必要です。
沖縄県	沖縄本島南部 土地改良区	JAおきなわ長志頭支店女性部員、八重瀬町農業委員として活躍。 ご主人と共にピーマンなどの野菜を栽培している。	員外	金城ゆかり	1年	総務	1年目として、先輩理事や事務局の皆様から多くを学び制度や事業内容を正しく理解することを大切にしています。	回答無し	理事という役割は少し勇気があるかもしれませんが、女性ならではの視点があったり地域へ支えになると思います。	女性でも安心して参加できる環境づくりを心がけていきたいです。
沖縄県	石垣島 土地改良区	JAおきなわ八重山支店 女性部役員を歴任し、現在石垣市農業委員会役員として活躍している。専業農家でさとうきび作りを取り組んでいる。	員内	池西美津子	2年	管理	理事歴2年目までまだ分からないことがたくさんあるが、管理担当理事として組合員に管理情報をわかりやすく共有し、透明性のある運営に努めることを心がけている。現場職員との連携を強化し、管理課題(修理等)の早期対応に取り組むことができている。	小さな課題でも相談してもらえよう、現場職員とのコミュニケーション方法を見直したい。 管理作業の負担が偏らないよう、効率的な役割分担の見直しを進めたい。	誰でも最初から完璧な役員はいません。完璧でなくて大丈夫。少しずつ覚えていけば、土地改良区の支えになります。	会議の議論が専門的になりがちで、はじめての人には理解しづらいことが多い。専門用語の説明や背景説明を増やし誰でも理解しやすい理事会運営にしたい。
沖縄県	石垣島 土地改良区	旧八重山郡農業協同組合監事やJAおきなわ八重山支店 女性部役員、石垣市和中改良組合女性部役員等を歴任。現在、家族で畜産（繁殖牛）経営をしている。	員外	大迫晴子	2年	企画	土地改良事業促進を行うために女性の視点を活かし、組合員に土地改良区の運営及び事業活動をわかりやすく伝えることを心がけている。現在畑かん更新工事において、更新地区の組合員の情報提供などを計画実施職員と調整し事業遂行ができている。	組合員の意見をもっと集めやすくするため、事業説明会の場や方法の見直しを進めたい。 若い世代や女性の農業就業者が参加しやすい会議等を整えたい。	女性が理事になることで、男性役員の多い環境に女性視点や考え方を取り入れることで、今よりもっと良い土地改良区になります。	会議進行が早く、理解が追い付かないことが多く、質問しづらい雰囲気になることがある。会議の進行を少しゆっくりにし、理事全員が議案内容を理解したことを確認して、質問のしやすいように取り組みたい。